

氏名	有竹清夏	部署	健康開発学科	職名	教授
研究分野	臨床生理学, 睡眠学, 時間生物学				
学位	博士 (保健学)				
学歴	2000年東京医科歯科大学医学部保健衛生学科卒業, 2003年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士前期課程修了, 2006年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士後期課程修了				
経歴	2000年日本大学医学部副手, 2001年国立精神・神経センター精神保健研究所/病院 研究員, 臨床検査技師, 2010年日本学術振興会特別研究員PD, 2012年ハーバード大学医学部/ブリガム&ウィメンズ病院リサーチフェロー, 2013年早稲田大学スポーツ科学学術院助教, 2017年東京大学大学院教育学研究科特任助教, 2017年埼玉県立大学健康開発学科准教授, 2023年埼玉県立大学健康開発学科教授				
所属学会 (役職)	日本睡眠学会 (評議員, 幹事 国際機関誌編集委員, ガイドライン委員会, ダイバーシティ委員会), 日本時間生物学会 (評議員), 日本PSG研究会 (幹事), 日本臨床神経生理学会, 日本臨床衛生検査技師会, 日本臨床検査学教育学会, American Association of Sleep Technologist (AASST), American Academy of Sleep Medicine (AASM), National Sleep Foundation (NSF)				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
		単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	The effect of nonrestorative sleep on incident hypertension 1-2 years later among middle-aged Hispanics/Latinos.	共著	あり	BMC public health 23(1) 1456-1456	Saitoh K, Yoshiike T, Kaneko Y, Utsumi T, Matsui K, Nagao K, Kawamura A, Otsuki R, Otsuka Y, <u>Aritake-Okada S</u> , Kaneita Y, Kadotani H, Kuriyama K, Suzuki M	2023.7
2	Subjective sleep onset latency is influenced by sleep structure and body heat loss in human subjects.	共著	あり	J Sleep Res. 2024 Jan 14:e14122. doi: 10.1111/jsr.14122.	Iijima R, Kadooka A, Sugawara K, Fushimi M, Hosoe M, <u>Aritake-Okada S</u>	2024.1
3	眠りと健康： 1.眠りのしくみを知ろう 2.眠りのセルフチェックと快眠のコツ 3. 睡眠問題への理解と快眠のコツ 4. 加齢と眠り 睡眠休養感を高めましょう	単著	なし	機関誌「栃木の国保」 1. P22-24, 2. p18-20, 3. p18-19, 4. p18-20	有竹清夏	2023.6 2023.10 2024.1 2024.3
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	手足温浴による放熱と睡眠構造の変化・性差.	共同		第72回日本医学検査学会, 高崎	○五月女杏, 萩田万喜, 齊藤鈴奈, 藤木優花, 伏見もも, <u>有竹清夏</u>	2023.5
2	生理学的動脈硬化指標の性差および睡眠前後の変化.	共同		第72回日本医学検査学会, 高崎	○齊藤鈴奈, 藤木優花, 五月女杏, 萩田万喜, 伏見もも, 末光美敬, <u>有竹清夏</u>	2023.5

3	Association of subjective-objective discrepancy in sleep duration with all-cause mortality in community-dwelling older men.	共同	SLEEP2023, Indianapolis	○Tomohiro Utsumi, Takuya Yoshiike, Yoshitaka Kaneita, <u>Sayaka Aritake-Okada</u> , Kentaro Matsui, Kentaro Nagao, Kaori Saitoh, Rei Otsuki, Masahiro Shigeta, Masahiro Suzuki, MD, Kenichi Kuriyama	2023.6
4	Restorative sleep restores sleep loss and excessive time in bed in middle-aged and older adults.	共同	SLEEP2023, Indianapolis	○Takuya Yoshiike, Tomohiro Utsumi, Kentaro Matsui, Kentaro Nagao, Kaori Saitoh, Rei Otsuki, <u>Sayaka Aritake-Okada</u> , Masahiro Suzuki, Kenichi Kuriyama	2023.6
5	Cerebrospinal fluid dynamics during NREM and REM sleep by a simultaneous sparse-fMRI and EEG method.	共同	Organization for Human Brain Mapping(OHBM)2023, Montreal	○M. Uji, X. Li, A. Saotome, R. Katsumata, <u>S. Aritake</u> , C. Suzuki, K. Ueno, M. Tamaki	2023.7
6	生理学的動脈硬化指標と睡眠構造・性差【シンポジウム:動脈硬化と睡眠】	共同	日本睡眠学会第45回定期学術集会・第30回日本時間生物学会学術集会合同大会、横浜	○有竹清夏	2023.9
7	局所温熱刺激による放熱および睡眠構造の変化と性差比較。【若手コロキウム】	共同	第30回日本時間生物学会学術集会合同大会、横浜	○五月女杏, 萩田万喜, 齊藤鈴奈, 藤木優花, 伏見もも, 野々村ゆかり, <u>有竹清夏</u>	2023.9
8	レジスタンストレーニングによる夜間睡眠中の $\delta$ パワー及び熱放散の変化-若年成人女性での検討-	共同	日本睡眠学会第45回定期学術集会・第30回日本時間生物学会学術集会合同大会、横浜	○伏見もも, 飯島竜星, 木山水月, 久保川媛加, 菅原このみ, 高倉麻里子, 野口史織, 金野倫子, 五月女杏, 野々村ゆかり, <u>有竹清夏</u>	2023.9
9	地域高齢男性における客観的な短時間睡眠を伴う不眠と概日活動リズムとの横断的関連。	共同	日本睡眠学会第45回定期学術集会・第30回日本時間生物学会学術集会合同大会、横浜	○内海智博, 吉池卓也, <u>有竹清夏</u> , 松井健太郎, 河村葵, 長尾賢太郎, 伏見もも, 都留あゆみ, 木附隼, 羽澄恵, 栗山健一	2023.9
10	手足温浴が昼間の放熱及び睡眠構造に与える影響・性差。	共同	日本睡眠学会第45回定期学術集会、横浜	○五月女杏, 萩田万喜, 齊藤鈴奈, 藤木優花, 伏見もも, 野々村ゆかり, <u>有竹清夏</u>	2023.9
11	Cerebrospinal fluid dynamic changes during human NREM and REM sleep: Simultaneous sparse-fMRI and EEG study.	共同	45th Annual Meeting of Japanese Society of Sleep Research, Yokohama	○Makoto Uji, Xuemei Li, An Saotome, Ryosuke Katsumata, <u>Sayaka Aritake</u> , Chisato Suzuki, Kenichi Ueno, Masako Tamaki	2023.9
12	Reconfiguration of brain networks during sleep supports sleep-dependent learning interactions.	共同	45th Annual Meeting of Japanese Society of Sleep Research, Yokohama	○Xuemei Li, Makoto Uji, Ryosuke Katsumata, An Saotome, <u>Sayaka Aritake</u> , Masako Tamaki	2023.9
13	Respiratory-related leg movement index as an independent predictor of all-cause mortality: the MrOS sleep study.	共同	World Sleep2023, Brazil	○Neda Esmaeili, <u>Sayaka Aritake</u> , Michael Rueschman, Susan Redline, John W. Winkelman, Ali Azarbarzin	2023.10
14	The effect of resistance training on heat release and slow-wave sleep during nocturnal sleep in young-adult women.	共同	eSLEEPEUROPE2023, Online	○M. Fushimi, R. Iijima, M. Kiyama, H. Kubokawa, K. Sugawara, M. Takakura, S. Noguchi, M. Konno, <u>S. Aritake-Okada</u>	2023.10
15	Reconfiguration of brain networks during sleep supports sleep-dependent learning interactions.	共同	Neuroscience 2023, WshingtonDC	○Xuemei Li, Makoto Uji, Ryosuke Katsumata, An Saotome, <u>Sayaka Aritake</u> , Masako Tamaki	2023.11
16	健常成人における手足温浴の睡眠構造への効果と性差。	共同	第4回日本睡眠検査学会学術集会。名古屋	○五月女杏, 萩田万喜, 齊藤鈴奈, 藤木優花, 伏見もも, 野々村ゆかり, <u>有竹清夏</u>	2023.11

17	成熟期女性におけるレジスタンス運動と夜間睡眠中の徐波活動.	共同	第4回日本睡眠検査学会学術集会. 名古屋	○伏見もも, 飯島竜星, 木山水月, 久保川媛加, 菅原このみ, 高倉麻里子, 五月女杏, 野々村ゆかり, 有竹清夏	2023.11
18	手足温浴が放熱と昼間睡眠構造に与える影響・性差.	共同	第53回日本臨床神経生理学会学術集会. 福岡	○五月女杏, 萩田万喜, 齊藤鈴奈, 藤木優花, 伏見もも, 野々村ゆかり, 有竹清夏	2023.11
19	急性レジスタンス運動と夜間睡眠時の $\delta$ パワー.	共同	第53回日本臨床神経生理学会学術集会. 福岡	○伏見もも, 飯島竜星, 木山水月, 久保川媛加, 菅原このみ, 高倉麻里子, 五月女杏, 野々村ゆかり, 有竹清夏	2023.11
20	女性の身体運動と夜間睡眠脳波測定中の徐波活動.	共同	第51回埼玉県医学検査学会. 大宮	○伏見もも, 飯島竜星, 木山水月, 久保川媛加, 菅原このみ, 高倉麻里子, 五月女杏, 野々村ゆかり, 有竹清夏	2023.12

(4) その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし	単独			

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	厚生労働科学研究費補助金 (21FA0201)	研究課題名: 現代の社会生活に応じた適切な睡眠・休養取得のための行動変容促進ツールの作成及び環境整備のための研究	研究分担者	2021.4-2024.3
2	文部科学省科学研究費補助金 (基盤C: 研究代表者) (KAKEN 22K11879)	研究課題名: 更年期女性の不眠の病態生理と身体運動に着目した睡眠改善プロトコルの開発と効果検証.	研究代表者	2022.4-
3	文部科学省科学研究費補助金 (基盤B: 研究分担者) (KAKEN 22H01107)	研究課題名: 学習の転移における睡眠の役割とその神経基盤の解明.	研究分担者	2022.4-

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	生理検査学Ⅰ	○	15	2年次前期3.4限 30時間: 科目責任者として心電図, 脳波, 筋電図などの循環器生理学, 脳神経生理学領域の基礎および臨床に関する講義, 定期試験作成・実施を行った.
2	生理検査学Ⅱ	○	8	2年次前期3.4.5限 15時間: 科目責任者として呼吸生理学領域の講義, 定期試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った.
3	生理検査学Ⅲ	○	15	3年次前期1.2.3限 15時間: 科目責任者として画像検査領域, 感覚機能検査領域の講義, 定期試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った.
4	生理機能特論	○	8	4年次後期2限 15時間: 科目責任者として生理機能全般に関する講義・演習を行った.
5	臨床検査概論		1/8	1年次前期5限 2時間: 科目担当者として生理機能検査概論を講義した.
6	生体情報評価学		3/15	大学院博士前期課程1年次 6時間: 科目担当者として講義を行った.
7	医療科学研究論	○	4/15	大学院博士前期課程1年次 8時間: 科目担当者として講義を行った.

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	生理機能演習	○	30	2年次前期3.4.5限 30時間：科目責任者として生理学実習の説明・実演および実習指導を行い, 非常勤講師の対応を行った。
2	検査総合演習 II		2/15☒	4年次後期2.3限 4時間：科目担当者として臨床検査科目のうち生理機能検査学について総括を行った。
3	臨床検査基礎演習		-	大学院博士前期課程1年次：科目担当者として演習指導などを行った。
4	健康福祉科学演習		-	大学院博士前期課程1年次：科目担当者として演習指導などを行った。
5	医療科学研究演習	○	-	大学院博士後期課程：科目責任者として演習指導などを行った。

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	生理検査学実習I	○	23	3年次前期1.2.3限 45時間：科目責任者として循環器, 脳神経, 呼吸機能の検査項目9種類について実習書を作成し, それを用いて学生に実習指導を行った。
2	生理検査学実習 II	○	23	3年次後期3.4.5限 45時間：科目責任者として超音波画像, 感覚機能の検査項目種類について実習書を作成し, それを用いて学生に実習指導を行った。
3	臨地実習		2023.12-2024.3	3年次後期 45時間：科目担当者として3年次学生の臨地実習受入施設への訪問・対応, 学生対応などを行った。また臨地実習担当として学生の病院施設配置や実習に関するガイダンスなど種々の指導を行った。
4	IPW実習	○	2023.4-2024.3	4年次通年：科目責任者として運営、教員FTのIPW実習受入施設への対応と説明会実施、事後アンケート集計、学生配置などを行った。

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.4~2023.12	主指導	4名 副指導 名
2	修士論文	2023.4~2024.3	主指導 (指導教員)	1名 副指導 (指導補助教員) 名
3	修士論文	2023.4~2024.3	主指導 (主査)	1名 副指導 (副査) 名
4	博士論文	2023.4~2024.3	主指導 (指導教員)	2名 副指導 (指導補助教員) 2名
5	博士論文	2023.4~2024.3	主指導 (主査)	1名 副指導 (副査) 名

(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	東京医科歯科大学医学部保健衛生学科☒	2022.4-	3年次生理検査学 II: 非常勤講師として生理検査学の講義を担当した。	
2	早稲田大学グローバルエデュケーションセンター	2015.4-	メンタルヘルスマネジメント概論：睡眠の生理	

#### 4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	まちなかキャンパス2023	地域産学連携	ぐっすり眠るための方法とは？ ～眠りのセルフチェック&ケア～	2023.7
2	神流町立中里中学校	睡眠健康推進機構	学校訪問型睡眠講座 睡眠の大切さ	2024.2
3	日本エスティック協会	日本エスティック協会	女性の睡眠の問題とメカニズム	2024.2

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	日本睡眠学会	評議員, 幹事 (2021.7-)	2007.7-
2	日本睡眠学会	生涯教育セミナー作業部会委員	2007.7-
3	日本睡眠学会	SBR編集局員	2016.7-
4	日本睡眠学会	国際機関誌編集委員会	2016.7-
5	日本時間生物学会	評議員	2010.4-

6	日本PSG研究会	幹事, 学術交流委員会副委員長(2021.6-)	2010.4-	
7	日本睡眠検査学会	評議員	2020.9-	
8	日本睡眠検査学会	学術交流委員会 副委員長 (2021-) 委員長 (2022-)	2020.9-	
9	日本睡眠検査学会	学術企画委員会	2020.9-	
10	日本睡眠検査学会	精度管理委員会	2020.9-	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	国の政策	厚生労働省	健康づくりのための睡眠ガイド2023 研究分担者指針作成	2021.4-2024.3
2	産業支援	花王株式会社	共同研究	2021.2-
3	産業支援	山甚株式会社	共同研究	2022.2-2024.3
4	産業支援	プロアシスト株式会社	共同研究	2023.9-
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	奨励研究部会	2020.4-	
2	全学的委員会及びセンター業務等	大学院入試委員会	2023.4-	
3	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会	2024.1-	
4	全学的委員会及びセンター業務等	学長特命業務	2021.4-	
5	学科等における委員会等	臨地実習担当	2018.4-	
6	学科等における委員会等	大学院教務担当, 大学院博士後期課程設置ワーキンググループ	2018.4-	
7	学科等における委員会等	将来構想検討ワーキンググループ	2019.8-	
8	学生支援	学生担任教員 (3年), 学生担当アドバイザー, 学習及び進路などの相談・支援	2018.4-	
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	第30回日本時間生物学会学術集会合同大会 若手コロキウム採択	日本時間生物学会	2023.9	
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			